

教育プログラム・コースの概要

大学名等	名城大学大学院薬学研究科						
教育プログラム・コース名	新治療開発「薬学」コース（インテンシブ）						
対象職種・分野	薬剤師						
修業年限（期間）	1年（最長5年 継続可）						
養成すべき人材像	分子標的治療やコンパニオン診断薬を用いる個別化医療、がん遺伝子パネル検査を用いるがんゲノム医療、遺伝子治療薬、免疫チェックポイント阻害薬やCAR-T療法等の免疫療法を、多職種連携チーム医療の現場で担う薬剤師。						
修了要件・履修方法	下記を修了要件とする。実地研修の成果の報告も必要とする。 ・系統講義年間30回の2分の1以上(15回)の出席 ・名城大薬学部および参画大学で行う実地研修(各2時間) 5回以上						
履修科目等	系統講義：分子標的薬やコンパニオン診断薬を用いる個別化医療、がん遺伝子パネル検査を用いるがんゲノム医療、遺伝子治療薬、免疫チェックポイント阻害薬やCAR-T療法等の免疫療法、免疫関連有害事象マネジメント、がん学際領域(腫瘍循環器学、衆生腎臓病学、老年腫瘍学等)。抗がん剤治療の副作用対策・支持療法、抗がん剤の薬物動力学、抗がん剤のDDS、抗がん剤の治療抵抗性対策、がん患者とのコミュニケーション学、抗がん剤の相互作用、スペシャルピュレーションへの対応。 実地研修：薬剤調製、抗がん薬曝露対策、レジム管理、服薬指導(症例報告の書き方)、病棟薬剤師業務全般、抗がん剤治療の薬薬連携、副作用管理、カンサーボード、がん遺伝子パネル検査エキスパートパネル(EP)参加、CAR-T療法や光免疫療法の流れ、遺伝カウンセリング活動などに関する実地研修。						
がんに関する専門資格との連携	参画施設である名古屋大はがん専門薬剤師(医療薬学会)、緩和医療専門薬剤師(緩和医療薬学会)、がん薬物療法認定薬剤師(病院薬剤師会)、愛知医科大はがん指導薬剤師(医療薬学会)、緩和薬物療法認定薬剤師(緩和医療薬学会)、藤田医科大はがん専門薬剤師(医療薬学会)、がん薬物療法認定薬剤師(病院薬剤師会)、緩和薬物療法認定薬剤師(緩和医療薬学会)の教育機関としてそれぞれ認定。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	・従来病院・保険薬局薬剤師は系統的にがん治療を学習することは困難であったが、本コースによって最新のがん治療の知識・技術を学修できる。 ・実習を取り入れることでより実践的な教育効果が期待できる。 ・講義をウェブ配信することで受講しやすい環境を整備する。 ・本コースは名城大学薬学研究科が運営を担当するが、全参画大学の薬剤部が講義・実習を担当するとともに、各大学に所属する薬剤師の参加を積極的に受け入れる。教育の効率化を図るとともに、東海地域全体の医療の質向上と均てん化が促進される						
指導体制	・名城大学薬学部をはじめ、参画大学医学部の附属病院で実地指導する。医師や認定看護師等の協力のもと多職種チーム医療の指導を行う。 ・本プログラムの担当教員ならびに学外招聘教員によるオンバス講義を行う。参画大学間で講義を分担することで、それぞれの大学のもつ強みを活用できる。						
修了者の進路・キャリアパス	日本医療薬学会、日本緩和医療薬学会、日本臨床腫瘍薬学会などの認定資格を取得し、高度・先進的な知識・技術を有する人材として、多職種連携チーム医療の一員としてがん医療の現場を担う。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		8	8	8	8	8	40
受入目標人数設定の考え方・根拠	修了に必須とする実習受け入れ能力を考慮して目標受入れ人数を毎年度8名、合計40人と設定した。これまでの研修実績および入学ニーズ調査からも毎年度8人の志願者が見込まれる。						